

令和4年度 事業計画

昨年度、新型コロナウイルス感染症の世界的パンデミックは収まる気配をみせず、世界中に甚大な影響を及ぼしている。日本国内においても急拡大したことにより、雇用情勢をはじめ社会経済活動に大きな打撃を受けています。

またシルバー人材センター事業運営においても、会員数が減少している中で「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」の一部が改正され、「定年の引き上げ」「定年制の廃止」「継続雇用制度の導入」等が、70歳までの就業機会の確保が企業の努力義務とするなど大変厳しい状況となっています。

しかしながら、会員の減少はセンター事業存続の根幹を揺るがすこととなるため、更なる「入会の促進」を強化するとともに、「退会者の抑制」等を実践し、会員増加に向けて取り組んでいく必要があります。

特に地域の高齢者を新たに会員として呼び込むためには、センター事業の「イメージアップ」、「働きやすい環境づくり」、「魅力ある仕事の開拓」など、課題は山積してはいますが、会員及び役職員が力を合わせ課題の解決に取り組んでいきます。

人生100年時代を迎えるなかで、就業を希望する高齢者の受け皿としてシルバー人材センターに求められている役割は、益々重要となっており、その役割を果たしていくことがセンター事業の更なる発展に繋がっていくことと考えています。

当センターでは、令和4年度における目標と取り組むべき事業の方向性を具体的に定め、シルバー人材センター事業の基本理念である「自主・自立、協働・共助」を念頭に、会員及び役職員が一丸とり事業の推進に取り組んでまいります。

1. 基本方針

- (1) 高齢者の入会促進と就業機会の確保・拡大
- (2) 安全・適正就業を推進し、魅力あるシルバー人材センターの実現
- (3) 組織の充実・強化と運営基盤の強化
- (4) 公益目的事業の着実な実施と地域社会への参加活動推進

2. 実施計画

- (1) 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供

① 受託事業

高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図り、活力ある地域社会づくりに寄与するため、高齢者にふさわしい地域に密着した仕事を、家庭、民間事業所、官公庁等から有償で引き受け、これをその能力、希望等に応じて請負又は委任の形式により就業機会を提供する。又、ローテーション就業やワークシェアリングを実施し、仕事の分かち合いに適切に配慮していく。

数値目標

| | |
|-------|-----------|
| 会員数 | 580人 |
| 入会率 | 1.6% |
| 受注件数 | 2,000件 |
| 就業延人員 | 49,500人 |
| 就業率 | 78% |
| 契約金額 | 308,500千円 |

(2) 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供

① 有料の職業紹介事業

臨時的かつ短期的な仕事又はその他の軽易な業務に係る仕事の求人を受け付け、そのような仕事を希望する高齢者のために有料の職業紹介事業を行う。

ア 数値目標

- ・ 求人件数 1件
- ・ 有料職業紹介事業収益 1千円

② 労働者派遣事業（シルバー派遣事業）

臨時的かつ短期的な仕事又はその他の軽易な業務に係る就業の範囲内において、派遣労働を希望する会員のために労働者派遣事業を行う。

ア 数値目標

- ・ 受注件数 7件
- ・ 労働者派遣事業収益 1,200千円

(3) 臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業に必要な知識及び技能を付与するための講習会

就業上必要な技能、知識を就業意欲のある高齢者に付与することにより、実際の就業に結びつけるとともに、より広い就業分野での仕事の確保提供をするため次のとおり講習会を行う。

- ア 刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育講習会
- イ 駐車場整理業務講習会
- ウ 接遇マナー講習会
- エ 介護研修・講習会
- オ その他各種講習会

(4) 上記(1)から(3)の事業を推進するための諸活動及びその他の社会活動を推進するための諸活動

① 普及啓発

本事業への信頼と理解が得られるよう、一般市民、事業所、官公庁に対し、本事業の意義と基本的な理念及び仕組み等を周知するとともに、高齢者自身の事業に対する意識啓発を図るため、次のとおり取り組む。

ア 独自の普及啓発イベントの開催

イ 普及啓発チラシの配布及び情報誌「ニュースゆんたく」の発行や「ホームページ」「SNS」等を活用した情報発信

ウ 各種イベントへの参加

② 安全・適正就業の推進

高齢者が自らの健康の維持と安全の確保を図りながら、センターから提供された仕事を安全かつ適正に遂行できるよう、安全意識の高揚と啓発活動を行うため、次のとおり取り組む。

ア 安全・適正就業推進大会の開催

イ 安全パトロールの強化

ウ 安全・適正就業委員会の開催と安全対策推進実施計画の策定

エ 就業日報（裏面にある安全就業点検表）を活用した健康管理の啓発

オ 「ニュースゆんたく」や「ホームページ」「SNS」等による情報の発信、周知等

③ 調査研究

本事業の実績を集計するほか、時代の要請に対応した事業展開を図るため、次のとおり調査研究を行う。

ア 高齢者の就業に対する意識調査に関する調査の実施（就業相談等）

イ 必要に応じ、他センターの情報を収集し、当センターの事業運営に反映させる

④ 会員の拡大

会員が減少する中で、新規会員を拡大するため、次のとおり取り組む。

ア 入会説明会及び就業相談会の強化

イ 会員による「一人一会員」運動の継続的推進

ウ 女性会員の増強

エ 自治会等との連携による一般家庭へのチラシ配布

オ 「ニュースゆんたく」や「ホームページ」「SNS」等による情報の発信

⑤ 就業分野の開拓・拡大

地域の一般家庭、事業所、官公庁等を訪問し、高齢者に相応しい仕事を開拓するとともに、高齢者の就業能力や経験を把握分析し、地域ニーズに対応する仕事の提案を次のとおり行う。

- ア 官公庁（市長、市議会議長、担当部局等）への要請
- イ 事業所、自治会、関係団体等への訪問

⑥ 相談、情報提供

入会を希望する高齢者を対象に入会説明会を実施し、高齢者からの相談に対応するほか、地域における働く高齢者のためのワンストップサービスセンターとして、雇用、就業、ボランティア活動等に係る相談、情報提供を一般市民や高齢者に行うため次のとおり取り組む。

- ア 入会説明会の開催
- イ 就業相談

⑦ 社会参加活動の推進

ボランティア活動を希望する高齢者を対象に、「できることを」・「できる範囲で」行う社会参加活動を一般市民と連携して実施する。また、加齢に伴い就業を離れた高齢者に対しては、高齢会員等の生活環境に合わせたボランティア活動等の社会活動の機会を推進していく。

- ア 下校時の児童の安全パトロール
- イ 清掃・清掃ボランティア
- ウ その他のボランティア等

3. 組織の充実・強化と運営基盤の強化

「自主・自立」「共働・共助」の理念に基づき、地区・地域班、職群班の組織力向上と地域に貢献するセンターとして体制の充実・強化に努めるため次のとおり取り組む。

(1) 会議

- ア 定時総会の開催
- イ 理事会の開催
- ウ 専門委員会の開催
- エ 地区総会の開催
- オ 地区長会及び地域班長会の開催
- カ その他必要な会議の開催